

議事要旨
(主な質問・意見と回答)

【議題第 191 号 北九州市都市計画地区計画の決定 大里本町地区】

質問

文化観光地区と駅前B地区の境界が整形になっていないのはなぜか。区域設定も含めて、両地区の違いを説明してもらいたい。

回答

文化観光地区は旧カッパル工場などの歴史的建造物を中心に文化・観光の集客拠点としての土地利用を図ることとし、その部分を区域としている。

駅前B地区は、駅前の立地を生かした商業・業務等の土地利用としており、現在地権者が商業施設等の土地利用を検討している。

よって、文化観光地区と駅前B地区の区域境は、筆境（地番の境）としている。

【議題第 192 号 建築基準法第 51 条の規定によるごみ処理施設及び

産業廃棄物処理施設の用途に供する建築物の敷地の位置について（若松区）】

質問

処理能力の増加に対し、トラックの発生台数が6台しか増えないのはなぜか。

回答

当初許可時の処理能力は、36 t/日であったが、今回許可申請までの間に 54 t/日（1.5 倍以下）に変更されている。現況の台数は 54 t/日をベースにしたものであり、今回の能力増強に伴うトラックの発生台数は6台増となった。

【議題第 193 号 建築基準法第 51 条の規定による産業廃棄物処理施設の

用途に供する建築物の敷地の位置について（若松区）】

質問・意見なし

【議題第 194 号 建築基準法第 51 条の規定による産業廃棄物処理施設の

用途に供する建築物の敷地の位置について（八幡東区）】

質問・意見なし

【議題第 195 号 北九州市都市計画マスタープラン小倉南区構想の策定について（諮問）】

意見

都市計画道路 6 号線のルートの見直しの理由とはなにか。

回答

区内の交通渋滞の緩和、下曽根生活支援拠点の円滑な交通処理を図るために、6 号線のルートを見直しています。

意見

20 年先を見通して策定するのであれば、人口、世帯数、高齢化率などの基礎的な数値を予測した上で、いろんな議論をしていくということも必要ではないか。

回答

全体構想では、人口を推計しています。しかし地域別構想は、全体構想に基づいた骨格の中で、地域特性を活かし、住民の方々の意見を聞いて、策定することとしているので、区ごとの人口は推計していません。

意見

区役所のまちづくりの担当者が 2、3 年ごとに人事異動するが、まちづくりの持続性の保証というものを本市としてどうしていくのか。

回答

まちづくりを継続させていくことは、行政の使命であるため、人事異動があっても持続してくべきだと考えています。

意見

行政区ごとでまちづくりができるのか。行政区域の枠を超えた各区のまちづくりが必要ではないのか。

回答

全体構想で全体の話をしており、地域別構想は地域に根ざしたまちづくりの指針として使うこととしています。

意見

小倉南区の特徴、特性とは何か。将来像にいろいろな言葉が入っており、よくわかりにくい。

回答

「自然環境」というのは、谷地区をイメージしており、「居住環境」というのは、企救地区をイメージしており、「新しい産業が息づく」というのは、曽根地区をイメージしており、3 地区でそれぞれイメージするものが、言葉の中に隠れて表しています。色々な総花的な意見でまとめてはいますが、それぞれの地区の特色を表しているのではないかと考えております。

意見

豊かな自然環境というのが、小倉南区の特徴ではないのか。中学生のアンケートをやっているが、このような意見は出ていないのか。

回答

平尾台貫山、福智山周辺の緑や曽根干潟など豊かな自然の保全活用というのは、これはかなりのウエートで中学生からも意見がありました。

意見

住民に情報提供することが安全・安心のまちづくりになると思うため、小倉南区内の活断層の小倉東断層について、地域防災計画に書かれている対策とは、何か。

回答

防災対策については、個別の計画をもって対策をしております。したがって、地域別構想には、個別の計画そのものは入れておりません。

意見

土地利用に関する方針の中で、城野医療刑務所跡地について記述されているが、具体的に何か進んでいるのか。

回答

城野駅南口の駅前広場と区役所につながる道路等の整備を予定しており、用地買収等をやっている状況です。

意見

小倉駐屯地は、周辺地域とは違う土地利用がなされているが、今後、住民、行政、団体がそれぞれ主体となり、まちづくりを進めていくうえで、どんなことを考えているのか。

意見

今の6号線のルートが曾根干潟にかなり近いところにあるため、できれば曾根干潟をかなり避けるような形で線形の変更をしていただきたい。

回答

昨年、環境アセスメント調査を行い、それに基づいてルート選定をしております。

意見

行政のプランである以上は、予算等にも影響を及ぼすプランだと思っているが、地域別構想の位置付けというのが、上位計画からブレイクダウンしたものなのか、市民意見をボトムアップしたものなのか、よくわからない。

回答

本市の基本構想・基本計画、それと県が策定する北九州都市計画区域マスタープラン、こういった上位の計画に沿って、まちづくりの理念や都市計画の目標、その骨格などを全体構想にまとめています。地域別構想は、市民の意見を聞きながら、ボトムアップをして、まとめています。

意見

小倉南区は自然を大事にして、これからも発展していってほしい。

意見

住民の声をよりの確に聞くためには、各局が持っているまちづくりに関する住民の声、意見、あるいは、もう少しまとまった地域づくりについての地域の人たちの考え方を十分踏まえたら、都市計画局の視点から全体を把握しているつもりでも、住民から見れば一つの局が言っているに過ぎないということですから、その辺の調整、整合性を、十分今後も検討していただきたい。